

平和の尊さを伝えたい

岐阜市で 3日につどい 出演者が群読練習

2017ぎふ平和のつどいが11月3日、岐阜市美江寺町の市民会館で開かれる。絵本「あらしのよるに」の群読などが行われ、平和の大切さなどを考える。当日に向けて出演者たちが群読の練習に励んでいる。

催しは日本国憲法公布71年に合わせ、県内の「九条の会」などでつくる実行委員会（安藤征治委員長）が主催。平和の大切さを再確認し、憲法9条の改正阻止を訴える。

絵本はオオカミとヤギが嵐の夜、互いの姿が見えない中で心を通わせる物語。二人が出会う第1章を、約50人で群読する。当日は作者さむらゆういちさんの講演もある。

本番に向けて市中央青少年会館（同市明徳町）では出演者らが練習に励んでいる。アナウンサーの浅井彰子さん（60）が講師を務め「皆さん一人一人が主役。自信を持ってやり切って」と呼び掛けている。

当日は午後1時30分から。入場料800円。中学生以下、高校生、大学生、障害者は無料。問い合わせは実行委員会の青木真理さん、携帯電話090（2688）5284。



本番に向け、「あらしのよるに」の群読に取り組む出演者たち
＝岐阜市明徳町、市中央青少年会館



創刊 明治14年

（大賀由貴子）

平和群読練習に熱 来月3日岐阜

岐阜市で11月3日に開催される「日本国憲法公布71周年記念2017ぎふ平和のつどい」（同実行委員会主催）では毎年、市民参加ステージの群読が行われています。今年のは、絵本作家の木村裕一さんの著書『あらしのよるに』に登場するオオカミとヤギが、本来敵対する関係にありながら友情を育み、心通わせる世界を50人で読み上げます。

群読の練習は5月27日から始め、28日に行われた7回目の練習では、6歳から88歳までの市民45人が本番さながらの声を響かせました。

群読に初めて参加する高橋勳子（いそ）さん（60）は「オオカミとヤギの友情が全世界につながるいいですね。現実社会でも対話が大事だと思います」と語ります。群読3回目の大熊春一さん（88）は「子



本番前の群読に励む市民ら＝28日、岐阜市

どもや女性の中に入り、元気の原動力をもらえてうれし。平和であり続けたい」と話します。群読を指導する浅井彰子さん（フリーアナウンサー）は「本番はみなさんが主役です。自信もってください」と呼びかけました。

副実行委員長の吉田千秋さんは「総選挙で改憲勢力が3分の2以上を占め、9条の危機にあります。改憲阻止に向けて、岐阜から声をあげていきましょう」と訴えました。

木村裕一さん講演も

「平和のつどい」は11月3日（金・祝）午後1時半から、岐阜市民会館・大ホールで開催。木村裕一さんの講演「あらしのよるに」と、私がおもった平和「フロント展示」戦争なんかに大きいー絵描きたちのメッセージ展もあります。前売り券800円（子ども・学生・障がい者は無料）。問い合わせ090（26888）5284 青木真理さん。